

【速報】

御中
様



©SKIP CITY IDCF 2010

2010年6月21日(月)
SKIPシティ国際Dシネマ映画祭事務局
333-0844 埼玉県川口市上青木3-12-63
彩の国ビジュアルプラザ 5階

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2010 記者発表が終了しました！



デジタルシネマの新しい才能を発掘する目的でスタートした「SKIPシティ国際Dシネマ映画祭」(主催:埼玉県、川口市、SKIPシティ国際映画祭実行委員会ほか)は、おかげさまで、今年7回目を迎えます。

本日、日本外国特派員協会にて、映画祭実行委員長(上田清司・埼玉県知事)、同副委員長(岡村幸四郎・川口市長)、長・短編部門審査員団代表の出席のもと、記者発表が行われました。

主催者、審査員それぞれの、映画祭に対する熱い思いが語られ、映画祭にエールをお送りいただきました。クリエイターを応援していこうという気持ちが一丸となった記者発表が終了し、ますます7月の開催に向けて盛り上げてまいります。

是非、本日の様子を貴媒体にてご紹介賜りたく、何とぞよろしくお願い申し上げます。

●各登壇者からのコメント

上田 清司・埼玉県知事:「今年7回目を迎えた本映画祭には、過去最多の85の国と地域から応募がありました。若手クリエイターの登竜門として評価されている本映画祭の力作を是非お楽しみください。」

岡村 幸四郎・川口市長:「短編部門の受賞監督が、続々と海外の映画祭でも評価されてきている。世界に羽ばたくクリエイターが生まれていくことを願ってやみません。」

八木 信忠・総合プロデューサー:「デジタルシネマの普及は、クリエイターの可能性を広げることに貢献しており、本映画祭を継続していくことが、我々の使命だと思っております。」

増田 久雄・長編国際審査員長:「映画祭はお祭り。新しい出会いも含め、楽しみたいです。自分も出来る限り足を運ぶので、期間中は是非みなさまにも映画にお越しいただきたいと思えます。」

榎井 省志・短編審査委員長:「長編のプロデューサーとして、若い方々と一緒に仕事ができる場をつくるのが任務だと思っている。映画祭に参加して、今年も若い方々から刺激を受けたい。」

佐野 史郎・短編部門審査員:「デビュー以来、映画に関わるものとして、こういった形で映画祭に参加できることを嬉しく思う。」

襟川 クロ・短編部門審査員:「今まで年間約600本も映画を観てきたキャリアを活かして「個性」「思い」「想像力」が詰まった短編を観て、さまざまな才能を発掘したい。」

【本件に関するお問い合わせ】

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭事務局: 広報・宣伝担当 木村 美砂(きむら・みさ)

Tel: 048-263-0818 Fax: 048-262-5635 Email: press@skipcity-dcf.jp

映画祭公式サイト: <http://www/skipcity-dcf.jp>

★何とぞご掲載のほど宜しくお願い申し上げます！